

関係高等学校長 様

北海道高等学校教育研究会長
(北海道札幌旭丘高等学校長)

林 恵 子

北海道高等学校教育研究会情報部会長
(北海道檜山北高等学校長)

佐 藤 健

北海道高等学校教育研究会情報部会キャラバン研究会の開催について (ご案内)

盛夏の候 貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、本会の運営および活動に対しまして、平素より格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では、標記のとおりキャラバン研究会を開催いたします。

このキャラバン研究会では、情報科が目指す教育の成果が全道にしっかりと根付き、生徒の学習意欲が高まることなどを目指して、実務的な研修を行います。学校事情などにより1月の研究大会に参加できない先生方、特に都市部から離れた地で教科「情報」を一人で担当して悩みを抱えている先生などに、ぜひ研修の機会を設けたいと情報部会会員の総意で始めたものです。

このようなキャラバン研究会の趣旨から、情報に対する見方や考え方といった知見を他教科の学習活動やそれ以外の教育活動にも活かそうとする、情報科以外の先生方にも数多く参加して頂きたいと願っております。また、本年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点から実施形態がWeb開催となることを申し添えます。

つきましては、時節柄ご多忙の中とは存じますが、情報教育に広く興味関心を持つ先生方に対するキャラバン研究会の周知と参加について、特段のご配慮をお願い申し上げます。

記

添付書類

1. 開催要項

情報科担当教諭

情報機器等の活用に関心がある教職員様

北海道高等学校教育研究会長
(北海道札幌旭丘高等学校長)

林 恵 子

北海道高等学校教育研究会情報部会長
(北海道檜山北高等学校長)

佐 藤 健

北海道高等学校教育研究会情報部会キャラバン研究会の開催について(ご案内)

盛夏の候 貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、本会の運営および活動に対しまして、平素より格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では、標記のとおりキャラバン研究会を開催いたします。

このキャラバン研究会では、情報科が目指す教育の成果が全道にしっかりと根付き、生徒の学習意欲が高まることなどを目指して、実務的な研修を行います。学校事情などにより1月の研究大会に参加できない先生方、特に都市部から離れた地で教科「情報」を一人で担当して悩みを抱えている先生などに、ぜひ研修の機会を設けたいと情報部会会員の総意で始めたものです。

このようなキャラバン研究会の趣旨から、情報に対する見方や考え方といった知見を他教科の学習活動やそれ以外の教育活動にも活かそうとする、情報科以外の先生方にも数多く参加して頂きたいと願っております。また、本年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点から実施形態がWeb開催となることを申し添えます。

つきましては、時節柄ご多忙の中とは存じますが、皆様にキャラバン研究会にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

添付書類

1. 開催要項

北海道高等学校教育研究会情報部会キャラバン研究会(サマースクール 2021 in 札幌)開催要項

1. 開催日時

令和3年(2021年)8月 3日(火) 8:30~16:30

2. 主催

北海道高等学校教育研究会情報部会

3. 開催方法

本年度のサマースクールは Web 開催 (Google Classroom をベースに Web 会議システムは Google meet を利用) といたします。詳細は以降の説明をご確認ください。

4. サマースクールとは

キャラバン研究会とは高教研情報部会が主催している、様々なテーマに沿ったワークショップを道内各地で開催する研究会のことです。これは情報科が目指す教育の成果が全道にしっかりと根付き、生徒の学習意欲が高まることなどを目指したものです。学校事情などにより1月の研究大会に参加できない先生方、特に都市部から離れた地で教科情報を一人で担当して悩みを抱えている先生などに、ぜひ研修の機会を設けたいと情報部会会員の総意で始めたものです。

中でも夏のキャラバン研究会はコンピュータやネットワークに関する知識や技術の向上を目的とした内容を実施しています。私たちは日頃から授業に活用できる多くのことを学びたいと考えていますが、なかなか実現できずにいます。そこで夏期の連続した2日間をサマースクールと銘打ち、体験的な学習に集中的に取り組む学びの場としたいと考えています。数年前にはLinuxの校内ネットワークへの導入や授業への活用方法について、ここ数年は今回と同様にプログラミングについてワークショップを行いました。昨年はコロナウイルス感染拡大防止のため初の中止となりました。

5. 実施内容

『クラウド型サービスの活用を前提とした授業への工夫と取組み』～プログラミング学習を中心に～

私たち高教研情報部会はコロナウイルス感染拡大の影響で、北海道情報科アンケート以外の予定されていた全ての活動を実施することができませんでした。もちろん情報部会が発足して以来、初めての事態です。『とにかく何かをやろう! (はじめよう!)』を理念としてきた私たちにとって、まさに断腸の思いでした。

昨年度実施した情報科教員アンケートの分析やさまざまな地域の情報科教員の話を総合すると、北海道の多くの情報科教員が今求めていること(困っていること)が二つあることが分かってきました。それは、「情報I」に対応するために『情報の科学的な理解』に関するスキルを身につけること、クラウド型サービスを校内の学習活動に活用するスキルを身につけることです。

本年度の情報部会はこの2点について、重点的にワークショップや研究会を開催し、研究を進めていきたいと考えています。

本年度のサマースクールもクラウド型サービスの授業における活用法を基礎から学ぶと同時に、授業を意識した実践について体験を通して学んでいこうと考えています。各ワークショップの詳細は以下の通りです。

1-2時間目 Google Workspace for Education を使ってみよう

ファシリテータ 札幌北高等学校 教諭 前田 健太郎 ・ 伊達開来高等学校 教諭 伊藤 崇

道立高校では生徒と教員に Google のアカウントを交付して Google Workspace for Education を利用することができるようになりました。しかし、利用のためには学校で準備をしなければなりません。また、サービスが使えたとしても、学校でどのように活用していくかという問題もあります。札幌北高校では 2020 年度に Chromebook84 台を NTT ドコモと Google から借り入れて Google Workspace for Education を試験的に利用しました。その経験から Google Workspace for Education 導入のポイントや学校および教科「情報」における Google のアプリの活用について紹介します。

3-4時間目 教科書準拠の基礎プログラミング (Python 編)

ファシリテータ 帯広緑陽高等学校 教諭 宮川 尊充

来年度から「情報Ⅰ」の授業が始まります。その中で取り扱われるプログラミングについての礎となるよう教科書に準拠した基礎プログラミングを実施します。今回は、教科書で取り扱っているプログラミング言語の中でも、半数を占めている Python を通して学びます。どの言語を選んで授業を展開しても、基本的なチュートリアルになる実践を目指します。

5-6時間目 「生徒には敵わない、では済ませない」プログラミングの世界

ファシリテータ 北海道遠隔授業配信センター 教諭 奥村 稔

教科書にあるような問題を直接的に解決するようなプログラミングは、近いうちに生徒の方が私たちを凌駕するようになります。それは、プログラミングのような世界では必然です。そんなときに、私たちが学校教育の場で生徒に示すことができることがあるのだとしたら、それは数理的な論理であるし、また数理的な哲学であると思います。そのような核心の断片に触れてみようかと企画しましたが。難しかったらごめんなさい！

6. 日程

	8:30	9:00	9:50		10:05	10:55		11:10	12:00			13:00	13:50		14:05	14:55		15:10	16:00		
受付	開会式・オリエンテーション	1時間目		休憩	2時間目		休憩	3時間目		昼休み		4時間目		休憩	5時間目		休憩	6時間目		閉会式	※質問等があれば、この時間に残っていたら解決します。

- ・ワークショップのそれぞれのコマは通常の授業時間（50分）で完結する内容です
- ・授業間は15分の休憩を設定しています。

7.参加費

参加費は無料です。

8.参加申し込み

受付は下のリンクもしくは右のQRコードから申し込み用 Google form をお願いします。

<https://forms.gle/JoF6JRnQwks32J426>

申し込み期限は実施日前日 8/2 (月) 午前 12:00 までといたします。



9. 参加に必要なもの

1.個人でお持ちの Google アカウント

(公立高校で使用している@hokkaido-c.ed.jp アカウントは通常の Google アカウントと交互にアクセスできないサービスが多いため、今回は使用しない予定です。)

2.Web 会議(今回は Google meet)に参加するための端末

Google meet に参加可能であればどのような端末でも構いませんが、スマートフォンのような小さなディスプレイではなく、できるだけ大きく見やすいディスプレイ (最低 10 インチ程度) を使用することをお勧めします。

3.ワークショップの内容を実習するための端末

ワークショップで利用するツールは Google が提供する Web サービスや Web アプリケーションです。そのため特に OS は指定しませんが、ブラウザは GoogleChrome を使うことを前提としています。

10.参加方法

8.の方法でお申込みを済ませた方に、eメールで個別にお知らせします。

11.その他の注意事項

*1台の端末でワークショップに参加することは不可能ではありませんが、画面の切替が煩雑になり、現実的ではありません。

Web 会議を利用したワークショップですので、実習用にコンピュータ(WindowsPC、Mac、chromebook 等)をご用意いただき、聴講用にもう一台端末(Web 会議に参加可能であればどんなものでも可)をご用意いただくことを強くお勧めします。

*Web 会議の利用に不安を覚える方に向けて、ワークショップ前日の 8/2 (月) 13:00 より接続テスト会を実施します。詳しくは申し込み後に eメールで届く案内をご覧ください。

*基本的に全日程の参加を前提とさせていただきますが、都合により一部のワークショップのみの参加も可能です。参加申し込み時に選択できます。また、実習をせず、ワークショップを聴講するだけの参加も可能です。

*事前申込なしの参加はお断りいたします。

*懇親会等は予定していませんが、当日のサマースクール終了後 1 時間を目途に、道立高校の新ネットワークや情報 I に関する情報交換や各種質問にお答えする時間を予定しています。参加したい方はワークショップで利用する Web 会議にそのままお残り下さい。

*Web 会議を利用したワークショップを実施することは情報部会として初の試みです。予告なく実施方法が変更されることも予想されます。その際は申し込み登録を頂いた eメールアドレスに変更の内容をお伝えします。

12. ワークショップに関する問い合わせ先

北海道札幌稲雲高等学校

〒006-0026 札幌市手稲区手稲本町 6 条 4 丁目 1 番 1 号

TEL 011-684-0034 FAX 011-684-0040

担当：鶴間 伸一 e-mail: neo_turuq@yahoo.co.jp